



建物 延べ面積	平方メートル																		
	平方メートル																		
工 作 物																			
何 々																			
計	件																		

参考

- 1 用紙の寸法は、日本産業規格 B 列 4 を標準とし、左とじとすること。
- 2 この表は、国有財産法第 22 条の規定（同法第 19 条及び第 26 条において準用する場合を含む。）により無償貸付をした国有財産について作成すること。
- 3 用途別名称は、緑地、公園、ため池、用排水路、火葬場、墓地、ごみ処理施設、し尿処理施設、と畜場、信号機等の小規模施設、生活困窮者の収容施設、災害の応急施設、地震防災の応急施設又は緊急事態の応急施設の別を記入すること。
- 4 この表は、用途別に区分して記入すること。この場合において、同一の用途別名称を用いる国有財産が複数の所在地にある場合には、最初の国有財産以外の国有財産について用途別名称の記入を省略することができる。
- 5 所在地名は、行政財産にあっては、国有財産台帳の所在地名を、普通財産にあっては、当該財産の所在する都道府県名を記入すること。
- 6 何年度間増減の欄中差引の欄に差引減があるときは、その数字にマイナスの記号を付すること。
- 7 件数は、1 契約をもって 1 件とし、計の数量の欄に記入すること。
- 8 計算書には、用途別の区分別合計及びその会計の区分別総計を記入すること。